



— 事業開始から4年間を振り返って —

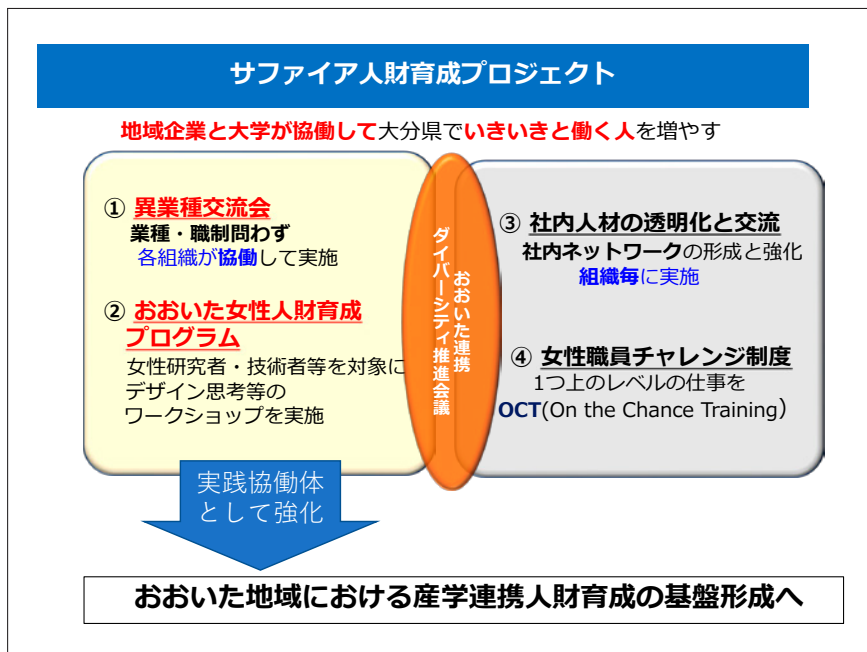


大分大学副学長
(ダイバーシティ担当)
松浦 恵子

中間評価から1年が過ぎようとしています。4年度目は補助金が終了した最初の年であり、またコロナ禍でしたが、お蔭様で継続した取組を推進することができました。中間評価で「S」を頂いたことは、事業推進の大きな励みになっただけでなく、終了までの数値目標達成のために一層身の引き締まるきっかけとなりました。国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)訪問調査でも山村康子プログラムオフィサーから叱咤激励を頂きました。北野正剛大分大学長を議長とするおおいた連携ダイバーシティ推進会議総会では、共同実施機関・連携機関ともに好事例の共有や課題抽出、課題解決に向けて活発な議論が行われ、企業等の変革を目の当たりにし刺激となっています。本事業での“サファイア人財育成プロジェクト”(図)はおおいた地域における産学連携人財育成の軸として、これまで特に異業種交流会やおおいた女性人財育成プログラムを進めて参りました。

今年度はシンポジウム、ダイバーシティセミナー、スキルアップセミナー、異業種交流会、そしておおいた女性人財育成プログラム(2年目のコース)をすべてオンラインで行いました。シンポジウム等では県外からも多くの参加者がありました。またおおいた女性人財育成プログラムでは参加者の高いレベルの仕事への挑戦意欲が強くなっており、その効果が今後も楽しみです。共同研究は自身も研究者の1人として共同研究報告会に参加し、1年間の成果を発表し多様な分野間での質疑応答が行われました。同じ牽引型事業を推進中の徳島大学・香川大学との交流、長岡技術科学大学での講演など、九州から飛び出し広い地域とのつながりも得られたように思います。

6年間の事業も残り2年となりました。小学生であれば5年生という高学年です。遠い未来のように思っていた事業後の姿をこれから本気で形づくっていかねばなりません。新型コロナウイルス感染症という未曾有の世の中で、ダイバーシティ推進はいかにあるべきか、大分という地でどのような地域モデルを構築できるか、解決しなければならない課題も多い中、事業前と比べて良い方向に変わったか、終了後も継続する力になっているか、と自問しながらの日々ですが、これからの2年がさらに実りある事業となるために皆様のお力を頂きたいと願っています。



2020年度の活動報告

※2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためセミナー等はすべてオンラインで開催しました。

◆英語論文投稿支援

6名
採択

〈募集期間〉2020年6月1日(月)~2021年1月29日(金)

女性研究者の研究力向上を図るため、国際的学術誌への論文投稿を促進するために必要な、ネイティブ校正費または論文投稿費について、5万円を上限に補助する事業です。2020年度は、6名の女性研究者へ支援を行いました。

◆異業種交流会(コロナ社会の働き方)

31名
参加

〈開催日〉2020年8月6日(木)

オンラインを活用した「コロナ社会の働き方」をテーマに、テレワークや遠隔授業の導入について振り返り、今後の働き方や組織について、業種を超えた意見交換を行いました。

◆おおいた女性人財育成プログラム

〈開催日〉①2020年11月20日(金) **17名参加**

②2021年 1月 7日(木) **17名参加**

③2021年 2月 4日(木) **14名参加**

④2021年 3月 4日(木) **15名参加**

⑤2021年 3月18日(木) **9名参加**

岸智子氏(福岡女子大学学び直しプログラムコーディネーター)と酒元謙二氏(フレックスラボ代表)を講師に迎え第2回目となる「おおいた女性人財育成プログラム」を実施しました。

知識や教養を深め、異なる組織の方と一緒に能力を磨く刺激を得たいと考えても、「仕事と私事の両立、費用、他の組織の女性と知り合う方法」等に不安や疑問を持つ社会人女性のために、どのような組織でも役立つ能力育成と多くの女性同士が知り合いになる場を提供する目的の全5回のプログラムです。コロナ禍を機に、一気に遠隔勤務と遠隔講義が進む中、多様な女性同士による段階的なグループワークを行いました。

やる気と能力を高めたいと考えている女性たちが、交流や対話・専門的な学修を通じて、自分の魅力を再発見し、知見を磨き、キャリアを向上させるための動機づけと自信をもっていただくことができました。



◆スキルアップセミナー

(リアルの代替じゃないバーチャルを追求したら
見えてきた!ダイバーシティを活かす学び方・働き方)

78名
参加

〈開催日〉2020年8月28日(金)

田原真人氏(トオラス代表)を講師に迎え、オンラインを活用した働き方について学びました。コロナ禍におけるダイバーシティを推進する上でオンラインの活用が有効であることがわかりました。



◆スキルアップセミナー

(伝わる研究ポスター作成術)

34名
参加

〈開催日〉2020年12月17日(木)

小野英理氏(京都大学情報環境機構・特定講師)を講師に迎え、今後の研究生活に必要な学会等で発表する研究ポスター作成のスキルを学びました。講義だけでなく、事前に受講者から提出されたポスターに、講師が実際に手を加え具体的に改善作成したものを比較しました。



◆第3回共同研究報告会

20名
参加

〈開催日〉2021年2月5日(金)

大分大学、大分工業高等専門学校、三和酒類(株)、フンドーキン醤油(株)、三井住友建設(株)が共同で行っている女性研究者を代表とした産学連携共同研究について3回目となる報告会を開催しました。共同研究の進捗状況や成果について研究者より報告がありました。

◆第4回ダイバーシティシンポジウム

〈開催日〉2020年12月7日(月)

145名
参加

第4回ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)シンポジウム「ダイバーシティRestart～地域社会の更なる成長を目指して～」を開催しました。講師には、資生堂初の女性人事課長に就任し、現在は株式会社wiwiw代表取締役会長である山極清子氏を迎え、『「ダイバーシティ経営と働き方改革」理論と実践～8つの課題に取り組んで成果をあげた企業の事例～』をテーマにご講演いただきました。また、その後のトークセッションでは、基調講演を踏まえて、株式会社wiwiw、株式会社成美、大分工業高等専門学校、三井住友建設(株)、大分大学の取組報告や今後の展望、課題などを話し合い、大分におけるダイバーシティ推進の実現に向けて、どのような課題があるのか、何が必要なのか等を今一度考え直す機会となりました。



編集・発行元 /



国立大学法人 大分大学 ダイバーシティ推進本部

〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地 TEL.097-554-7339/097-554-7337

E-mail▶cd-diver@oita-u.ac.jp

https://diver.fab.oita-u.ac.jp/